

## 平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号		15 05 01	中期総合計画主要施策番号		4-01	担当課	部・課	教育委員会事務局教学指導課	
事業名		教職員研修事業					内線	4387	
							E-mail	kyogaku@pref.nagano.jp	
事業の概要等	事業の目的	教職員としての資質向上と使命感の高揚を図り、教育活動に必要な基礎的・基本的な知識・技術を身につける研修を推進するとともに、児童・生徒一人一人に生きる力を育てるための研修の充実を図る。							
	事業の必要性	[現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)] 教職員は、教育のための知識・技術を常に向上させる努力をするとともに、学校を取り巻く環境、児童・生徒の状況の変化に対応することが求められている。							
		[原因分析(ギャップが発生している原因は何か)] 社会が急激に変化し、学校を取り巻く環境、児童・生徒の状況も大きく変化し続けているため、それに対応するための的確な教育的技術、各種情報等を整理、把握し、身に付ける必要がある。							
		[課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)] 恒常的に求められている教育的な資質の向上を図るとともに、現代に特有の課題を解決するための知識・技術等を体系的に教授できる研修を行うこと。							
	事業内容	研修事業 ・基本研修 初任者研修、5年経験者研修、10年経験者研修 ・専門研修 教頭・校長研修(新任研修、マネジメント研修等職責遂行に必要な知識・技能の習得) ・専門研修 学校マネジメント等研修(実践研究講座、教科等研修、課題別研修、情報教育研修、産業教育研修、生徒指導研修、特別支援教育研修、出張講座、特別企画研修、信州大学連携研修)生徒指導専門研修、産業教育長期研修、先端技術研修、特別研修(英語教員研修、小学校英語必修化準備研修、臨時任用研修)、実践研究講座							
実施期間	(不明) ~		根拠法令等 教育公務員特例法第23条						
成果と達成状況	事業の目指す成果		達成度(期待どおり)の判定基準(H20)			達成状況		評価	
	教職員としての資質向上と使命感の高揚を図り、教育活動に必要な基礎的・基本的な知識・技術を身につける研修を推進するとともに、現代に求められる課題に対応できる力を培う研修を体系的に実施する。		研修を体系的に進め、研修体制の充実に努め、研修参加者の追跡調査アンケート結果で、「授業や学校・学級経営等に役立つものであった」割合が、90%以上を示すこと。			総合教育センターを中心に、それぞれの教職員のニーズに応じた研修体制の充実に努めてきた結果、センター研修参加者の追跡調査アンケートの「授業や学校・学級経営等に役立つものであった」の割合が、20年度94.5%(19年度93.9%・18年度92.8%)と上がってきており、教育実践に生かされる教職員研修事業となっている。		a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下	
事業コスト	区 分		単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要		
	最終予算額 (A)		千円	146,888	116,169	115,186	国庫・県単 県単		
	決 算 額 (B)		千円	128,465	108,436		実施方法 直接		
	B(H21はA)のうち一般財源		千円	127,422	107,418	114,044	歳出節別内訳等		
	概 算 人件費	従事する職員数	人	36.50	36.50	36.50	・報 酬:35,097 ・報償費:6,686 ・旅 費:59,752		
	概算事業費 (B(H21はA)+C)		千円	389,075	369,375	376,125	(単位: 千円)		
事業実績	内 容		単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績		
	総合教育センター講座数		講座数	441	395	386	臨時的任用教員が増加している中で、臨時的任用教員を対象とした資質向上を図る研修を実施。ニーズが高く、全県で1077人が参加。		
	総合教育センター講座参加数		人	10,399	10,283	10,500			
	教育事務所研修講座(6教育事務所分)		講座数	143	179	130			
事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明						
	事業のニーズの変化		増加	横ばい	減少	判 定の 説明	総合教育センターや教育事務所を中心に、それぞれの教員の課題や、能力、適性に応じた研修体制の充実に努めてきた。総合教育センターの研修講座を、実績やニーズに合わせて精選して実施。総合教育センター等での研修を、さらに学校に還元する方策を図る必要がある。		
	県の関与を見直す余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	有効性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	効率性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	課題の総括		教職員の資質向上をめざして、更に体系的な研修の推進を図る。また、現代的な教育課題に対応した課題解決につながる研修の充実を図る。臨時的任用教員が増加している中で、臨時的任用者にとってニーズが高い「教職基礎研修」を計画的に実施していく。教員自身による研修計画の作成と評価や学校における還元方策を検討する必要がある。						